

中学校第 1 学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名 郷土を愛する心【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】
- 2 教材名 「誕生」（池田 学 2013-16 紙にペン、インク、透明水彩 300×400cm）
（出典：池田 学 『The Pen』 青幻舎）
「明日世界が終わるとしてもーペン 1 本まだ見ぬ頂へ～画家・池田学～」 （NHK）

3 主題設定の理由

○ねらいとする価値について

郷土とは、自分が生まれ育った土地や地理的環境のことである。日本においては、都市化や過疎化が進み、郷土に対する愛着や郷土意識が希薄になっている傾向がある。しかし、生徒にとって、地域社会の一員としての自覚を持って郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めることは大切なことと考える。また、地域社会は、家庭や学校とともに、生徒にとって大切な生活の場である。郷土から離れていても郷土を大切にしている先人の生き方に触れることで、郷土のよさに気付く、郷土に対する誇りや愛着を持つことは大変意義深いことと考える。

○生徒の実態について

本学級の生徒は、小学校の段階では、地域の行事に参加し、地域社会と関わりをもちながら生活してきている。事前調査では、65%の生徒が「ふるさとの伝統や文化を大切にしたり、地域の人と一緒にふるさとの行事に参加したりしている」と答えている。しかしながら、残り35%の生徒は、「あまりできていない」と答えており、中には「あまり興味がない」と答えた生徒もいる。自我の確立を意識する中学校の段階において、郷土のよさを考え、郷土に対する認識を深めるとともに、先人の生き方から、郷土を愛する心について考えを深めさせたい。

○教材について

本授業では、佐賀県多久市出身の画家、池田学さんの作品「誕生」と、その制作過程を追ったNHKのドキュメンタリー番組を教材としている。池田学さんは米国ウィスコンシン州マディソンのチェゼン美術館で3年3か月を掛けて「誕生」の制作に当たった。NHKのドキュメンタリー映像では、池田さんが「誕生」の制作の合間に、趣味の釣りに行き、訪れた湖で故郷の多久の風景や自然を語る場面がある。生徒に、佐賀出身の池田学さんの生き方から、郷土とは人間にとってどんな存在なのか、考えさせる契機としたい。また、「誕生」を巡って池田さんは、自身初の大規模展覧会を佐賀の地からスタートさせ、米国の美術館やカナダ人のコレクターから高額での購入の打診があったにもかかわらず、佐賀県からの購入の申し出を受けている。池田さんの生き方から学ぶことを通して、生徒に自分の「佐賀愛」について改めて考えさせることができる教材である。

○指導について

指導に当たっては、導入で佐賀に対する生徒のイメージを提示することで、授業前の郷土への思いを確認する。展開前段では、まず「誕生」制作のドキュメンタリー映像を視聴させ、池田学さんを支える郷土の存在に気付くようにする。「池田さんはどのような思いで、初の大規模個展を佐賀の美術館からスタートさせたとおもいますか」、「池田さんは『誕生』をどこに所有してほしいと思っているのでしょうか」という発問を通して池田さんの佐賀への思いを感じさせた後、池田さんの「佐賀愛」について考えさせるために、意見交流を設定し、考えを広げ、深めさせる。展開後段では、「池田さんへのメッセージ」を書かせることで、池田さんの生き方から学んだことや自分の「佐賀愛」について考えをまとめさせる。終末では、「心の種（級友の心に残った言葉をカードに記入したもの）」を交換させ、最後に「池田さんへのメッセージ」（数名分）を学級に紹介することで、本時の学習を振り返らせ、授業を閉じる。

4 ねらい

池田学さんの生き方から、池田さんの「佐賀愛」を感じることで、自分にとっての「佐賀愛」を考え、佐賀の発展のために自分が寄与しようとする実践意欲を育む。

5 指導の視点

- ・生徒が多面的・多角的に考えたり、ねらいに沿って考えたりさせることができたか。
- ・その人物の生き方から人間としての生き方を考えさせることができたか。

6 展開

	学習活動	主な発問(○)と予想される反応(・)	指導上の留意点 予想される生徒の変化(教師の願い)
導 入 ／ 展 開	1 佐賀のイメージを確認する。	○佐賀はどのような所ですか。 ・自然が豊か ・田舎 ・歴史がある	・事前アンケートの結果を紹介し、佐賀のイメージを膨らませる。
	2 「誕生」制作のドキュメンタリー映像を見る。	○この作品を描いた人は誰でしょうか。 ・池田学さん ○どのような人なのか映像を見てみましょう。	・「誕生」ポスターを見せ、作品から作者を想像できるようにする。 ・NHKの「明日世界が終わるとしてもーペン1本まだ見ぬ頂へ～画家・池田学～」(2016年12月29日放送番組)の一部を視聴させる。その後、制作に3年を掛けた大作であることを押さえる。
展 開	3 池田さんの「佐賀愛」について考える。	○池田さんはどのような思いで、初の大規模個展を佐賀の美術館からスタートさせたいと思いますか。 ・地元の佐賀で開催したい。 ・家族や友達に見てほしい。 ・世話になった人に見てほしい。 ○池田さんは「誕生」をどこに所有してほしいと思っているのでしょうか。 ・アメリカの美術館 ・絵画コレクター ・佐賀	・電子黒板に「心に残った池田学さんの言葉①」を提示することで、生徒が池田さんの「佐賀愛」に気付くことができるようにする。 ・電子黒板に「心に残った池田学さんの言葉②」を提示し、もっと高い値段で買い取りを希望する所がありながら、佐賀県に所蔵してもらうことを決めた池田さんの「佐賀愛」に気付くことができるようにする。
	【書く活動①】 【話し合い】	○池田さんの「佐賀愛」はどのようなものでしょうか。 ・佐賀のよさを絵で世界の人に伝えたい。 ・佐賀のおかげで成長したという感謝の気持ちを佐賀の人に伝えたい。 ・郷土の佐賀に貢献したい。 ・佐賀の自然を守るために、絵にメッセージを込めて作成する。 ・次世代の人材育成に役立ちたい。	・□には、生徒の発言の中から言葉を選ぶ。 ・ワークシートに生徒が自分の意見を書く時間を取った後、グループでの意見交流を設定する。 ・自分の意見を黒板にウェビングするよう指示し、全体交流でグルーピングしていく。 ・話し合いを受け、自分の意見を再考するよう指示する。

展 開 ／ 終 末	4 自分にとっての「佐賀愛」を考える。 【書く活動②】	○あなたの 佐賀愛 を池田さんに伝えましょう。 ・これまで私は、何となく大人になって、美容師になればよいと思っていました。でも今日の授業で、池田さんは3年掛けて制作した絵を佐賀に飾りたいと思われていることを知りました。将来の私も、美容師として、佐賀のために少しでも貢献できるようにしたいと思いました。 ○今日の授業で心に残った友達の言葉を書きましょう。 ・建築関係の仕事に就いて、佐賀のみんなが利用しやすい町を作りたいと言っていたのが印象に残りました。 ○みんなのメッセージを紹介します。	郷土について、多面的・多角的に捉え、自分なりに考え、思いを表現しようとしている。 ・自分事として考えることができるように、総合的な学習の時間で郷土について学んだことを想起させる。 ・切実感を持って自分の「佐賀愛」について考えさせるために、「池田さんへのメッセージ」を書くという設定をする。 ・書く視点として次の流れで表現するよう指示する。 ①これまでの自分のこと ②池田さんの生き方から学んだこと ③これからの自分がしたいこと 佐賀のために自分なりに貢献していきたいという意欲を感じ始めている。 ・「心の種」に書いたことを互いに伝えてから交換するように指示する。 ・電子黒板に「池田さんへのメッセージ」（数名分）を投影し、余韻を残す。
---------------------------------------	--	--	---